第47号
2019/04

# PVかながわ ニュースレター

News

## EARTH HOURをご存じですか？
### 再エネ100%のステージに協力！

去る3月30日（土）に桜木町駅前広場で開催された「EARTH HOUR 2019 in YOKOHAMA」に参加した。EARTH HOURとは、世界中の人々が、「美しい地球を残したい！」「地球の環境を守りたい！」という想いを胸に、全世界で同じ日の現地時間の同時刻に順次電気を止めて、消灯のバトンがぐるりと地球を一周するプロジェクトです。WWF（世界自然保護基金）ジャパンが主催し横浜市の共催で、20:30からの60分間消灯した。14時半～18時までは大道芸やヨガなどのプレイベントが行われ、19時～21時半は消灯カウントダウンなどのセレモニーで構成された。

荷台をステージとして使用したソーラーパワートラックは、屋根に20W×250枚＝5kWの太陽電池を貼り付け、37kWhの蓄電池を装備し、音響装置の電力を賄える 。50WのLEDランプ3台のステージ照明には電気自動車リーフ2台（日産提供40kWhと田辺所有24kWh）で電力を供給した。リーフの蓄電池は事前に太陽光発電で充電しており、CO2を排出しない再エネ100%と言えるイベントに協力出展した。

撮影したころは、まだ雨は降っていなかったが、消灯近くの時間帯では、あいにくの雨でテントなどの用意がなかったため、展示パネルや企画用のテーブルを撤去してのカウントダウンになってしまった。消灯に参加する施設は133企業・団体というが見る限りでは少なく、コスモクロック21が数分間消灯したぐらいだった。こういったイベントをきっかけにエネルギー消費に対する意識が高まって欲しいと思う。

（田辺記）

写真の説明：会場などで配布したチラシと会場の様子。写真の左が田辺所有(手前)と日産提供(奥)のリーフ。右奥のステージがパワートラック。左下に出前発電所も出展。

## 世話人から

**連絡事項**

10年保証が切れる前にシステム状態チェックが望ましく、9年目を迎える会員発電所が県内に13件あります。事務局では対象者に別途ヒヤリングを予定しています。

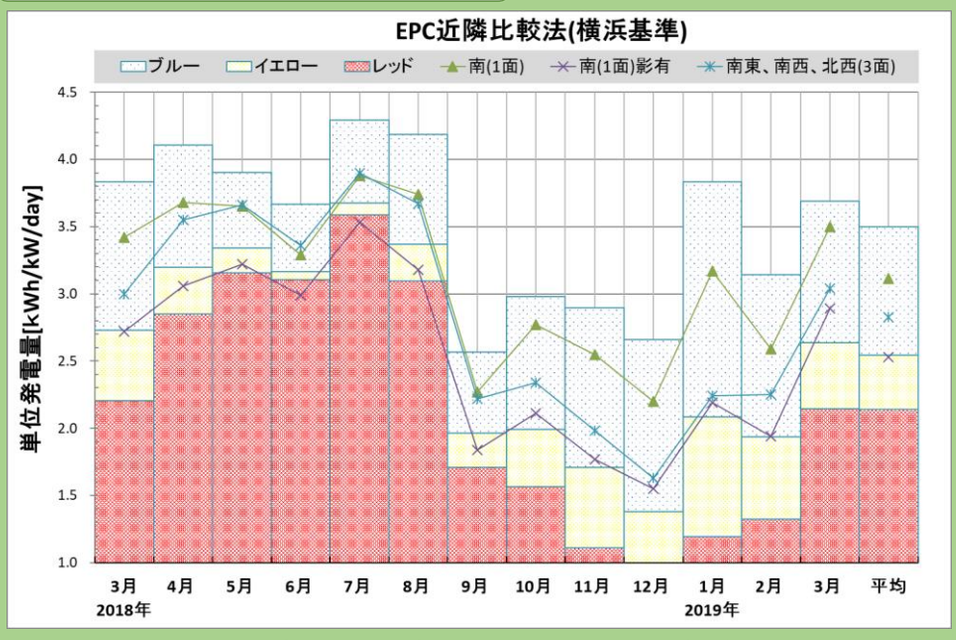
**今後の予定**

**2019年6月2日（予定）**
**横浜開港祭**
**会場：臨港パーク**
**時間：詳細別途。**

**2019年7月7日（日）(予定)**
**ワークショップ第27回**
**「出前発電所をくろう！Final」**
**会場：「かるがも」(星川駅)**
**時間：13:40～16:30**

**2019年8月6日（火）(予定)**
**「横浜市図書館」エコスクール**
**会場：港南図書館**
**時間：詳細別途**

## 今月の単位発電量！




3月の発電量は、まあまあという感じと思います。気象庁によると3月は「北日本から西日本にかけて、数日の周期で高気圧と低気圧が交互に通過したが、低気圧は発達することが少なかったため、北日本と東日本太平洋側では月降水量が少なかった。北日本日本海側や東日本太平洋側などの地域では、月間日照時間は平年並みだったが、北日本では上旬を中心に、東・西日本では中旬を中心に高気圧に覆われやすく多かった。沖縄・奄美では、上旬は暖かく湿った空気の影響で大雨となった日があり、月降水量は多かったが、中旬以降は高気圧に覆われて、月間日照時間は多かった。中旬と下旬は寒気の南下した時期があったが、全国的に暖かい空気に覆われることが多かったため、月平均気温は全国的に高く、東・西日本でかなり高くなった。」

単位発電量とは、1kWあたり、1日あたりの平均発電量です。毎月の発電量[kWh]を設備容量[kW]と日数で割ってください。平均は直近12か月の単位発電量です。一般的に単位発電量は、ブルーの範囲になることが期待されます。北西など、やや北向きがある発電所はイエローになることもありますが、レッドになる場合は、メーカなどに相談することをお勧めします。